

**製品名: NNT-1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14770**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	CLCF1 BSF3 CLC NNT1
別名	Cardiotrophin-like cytokine factor 1 (B-cell-stimulating factor 3; BSF-3; Novel neurotrophin-1; NNT-1)
遺伝子 ID	23529.0
SwissProt ID	Q9UBD9
免疫原	アミノ酸配列範囲: 171-220 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

**背景**

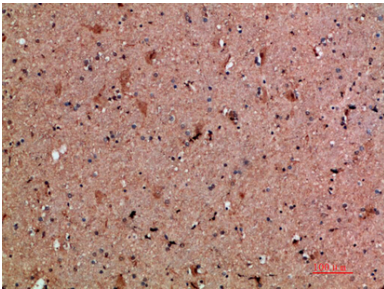
この遺伝子は糖タンパク質 (gp) 130 サイトカインファミリーに属し、心臓栄養因子様サイトカイン因子 1 (CLCF1) をコードして

います。CLCF1はサイトカイン受容体様因子1 (CRLF1) とヘテロ二量体複合体を形成します。この二量体は、毛様体神経栄養因子 (CNTF) と毛様体神経栄養因子受容体 (CNTFR) 複合体への結合を競合し、Jak-STAT シグナル伝達カスケードを活性化します。CLCF1は、可溶性I型CRLF1または可溶性CNTFRと複合体を形成することで、細胞から活発に分泌されます。CLCF1は、強力な神経栄養因子、B細胞刺激因子、および下垂体副腎皮質刺激ホルモン産生細胞の機能を調整する神経内分泌因子です。CLCF1の欠損は、寒冷誘発性発汗症候群2 (CISS2) を引き起こします。この症候群は、寒冷曝露後の多量の発汗と、頭部および脊椎の先天的な身体的異常を特徴とする。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションがコードされる。疾患: CLCF1 遺伝子の欠陥が、寒冷誘発性発汗症候群2 (CISS2) [MIM:610313]の原因である。寒冷誘発性発汗症候群 (CISS) は、常染色体劣性遺伝疾患であり、低温環境 (7~18°C) によって誘発される多量の発汗を特徴とする。その他の異常としては、高口蓋、鼻声、鼻梁低下、肘を完全に伸展できないこと、および脊柱後弯症などが挙げられる。機能: B細胞刺激能を持つサイトカイン。ILST/gp130 受容体に結合して活性化します。類似性:IL-6 スーパーファミリーに属します。組織特異性:リンパ節、脾臓、末梢血リンパ球、骨髄、胎児肝臓で主に発現します。、

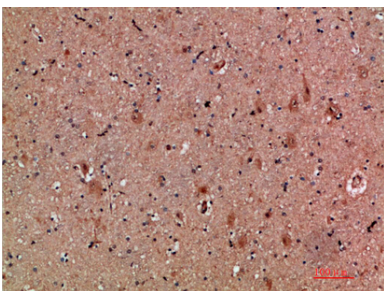
## 研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;Jak\_STAT;

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された